

決算説明資料

2019年3月期 第1四半期

インヴァスト証券株式会社



四半期決算概要

2019年3月期 第1四半期決算（2018.4-6）のポイント

■ 営業収益は9億50百万円（前年同期比+0.8%）

- 国内金融事業（当社）の純営業収益は、6億65百万円（前年同期比 Δ 6.4%）セグメント利益0百万円（同 Δ 97.6%）を計上
- 海外金融事業（豪州子会社 I F S）は、純営業収益2億53百万円（前年同期比+10.7%）セグメント利益56百万円（同+2.6%）を計上
 - 4月における「シストレ24」、「トライオートETF」の取引量の減少が目立ち、5月以降のキャンペーン等の施策実施により回復するも、国内金融事業の収益が伸び悩む。
 - 海外金融事業は、安定的な収益の積み上げとコスト管理により、9四半期連続でセグメント利益を計上。

■ 販売費・一般管理費は8億57百万円（前年同期比+1.7%）

- 減価償却費が減少（51百万円、同 Δ 34.2%）、広告宣伝費が増加（1億19百万円、同+43.5%）

■ 営業利益57百万円（前年同期比 Δ 39.8%）

経常利益72百万円（同 Δ 26.5%）

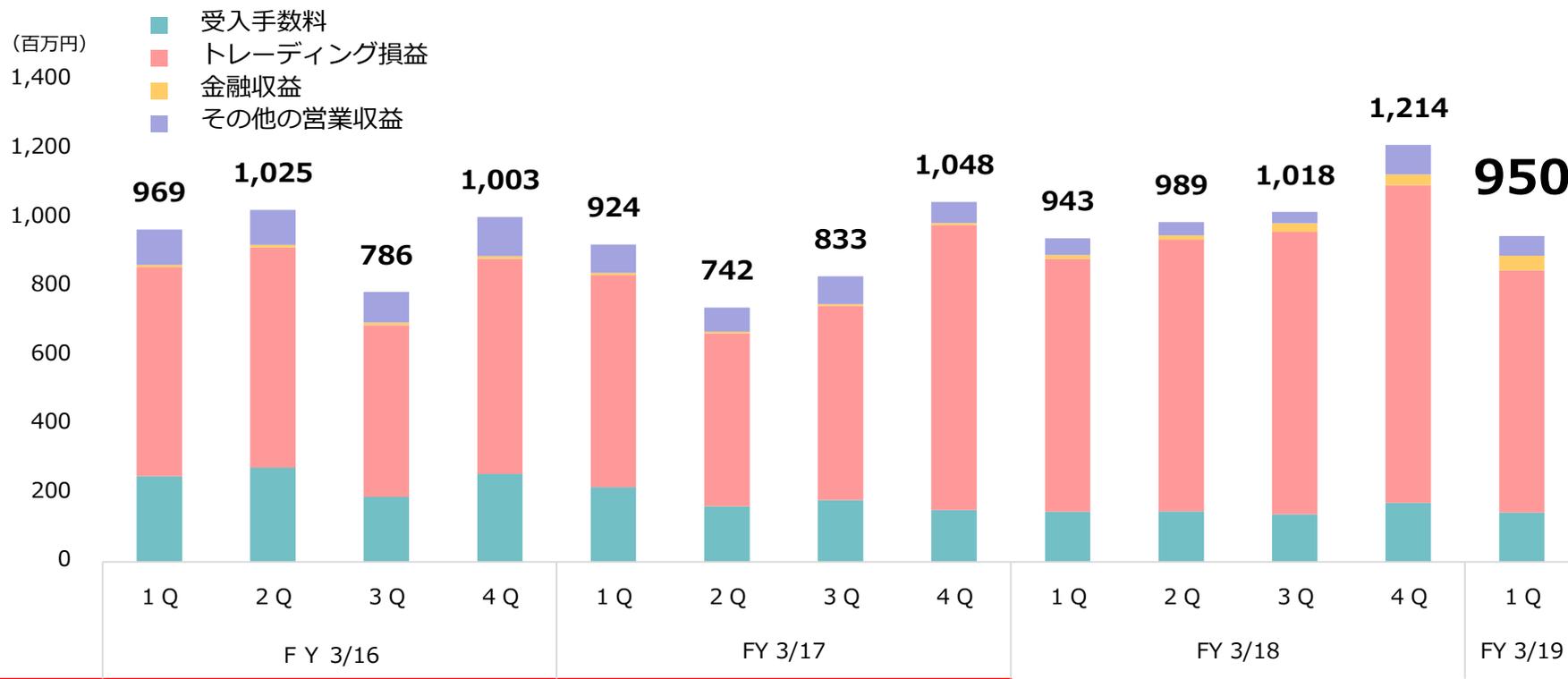
親会社株主に帰属する四半期純利益は68百万円（同 Δ 27.0%）

- 営業外収益16百万円、特別利益7百万円を計上

営業収益は、 前年同期比+0.8%の9億50百万円

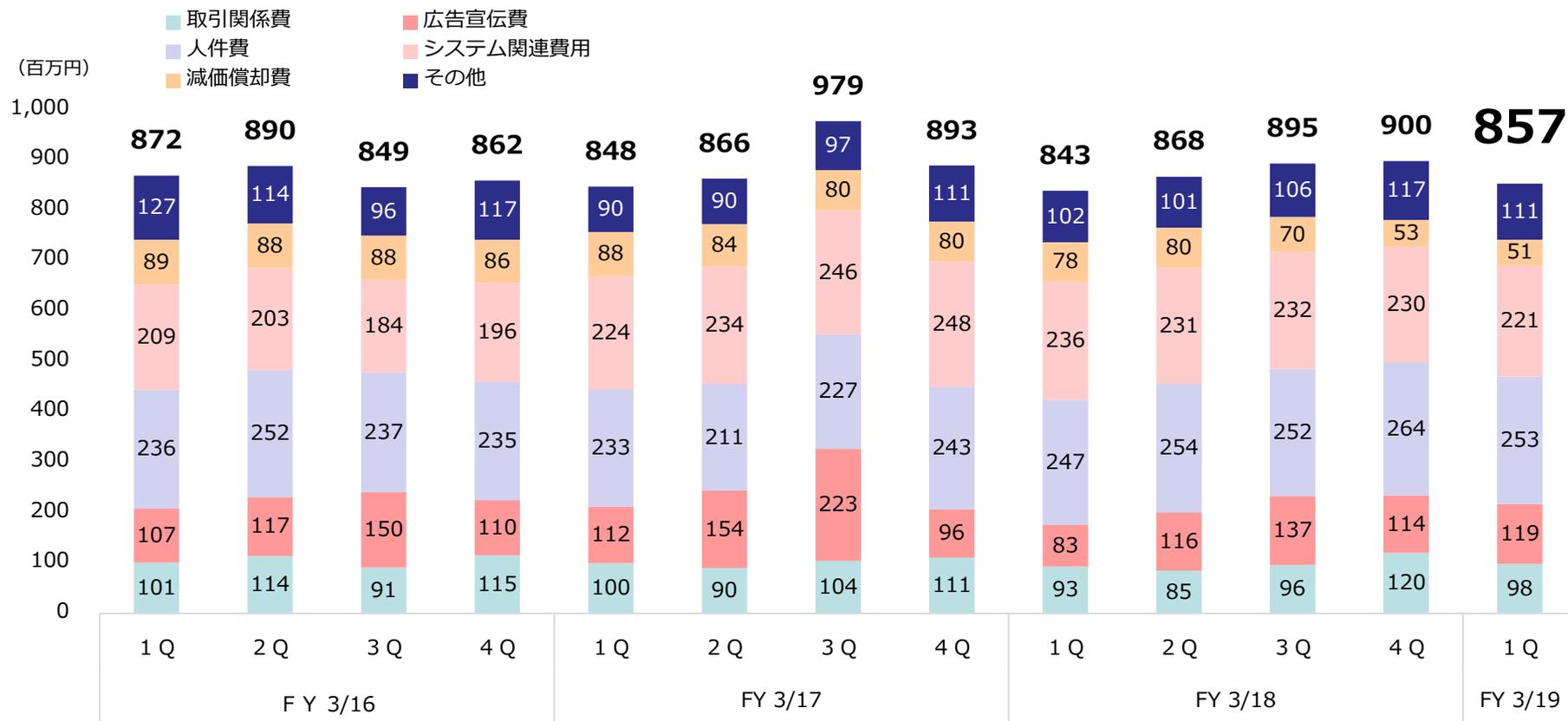
4月に取引量が大幅減少するも、5月以降は「シストレ24」キャンペーン実施等が奏功し、収益は回復基調に。

また、国内金融事業の収益落ち込みを、海外金融事業がカバー。



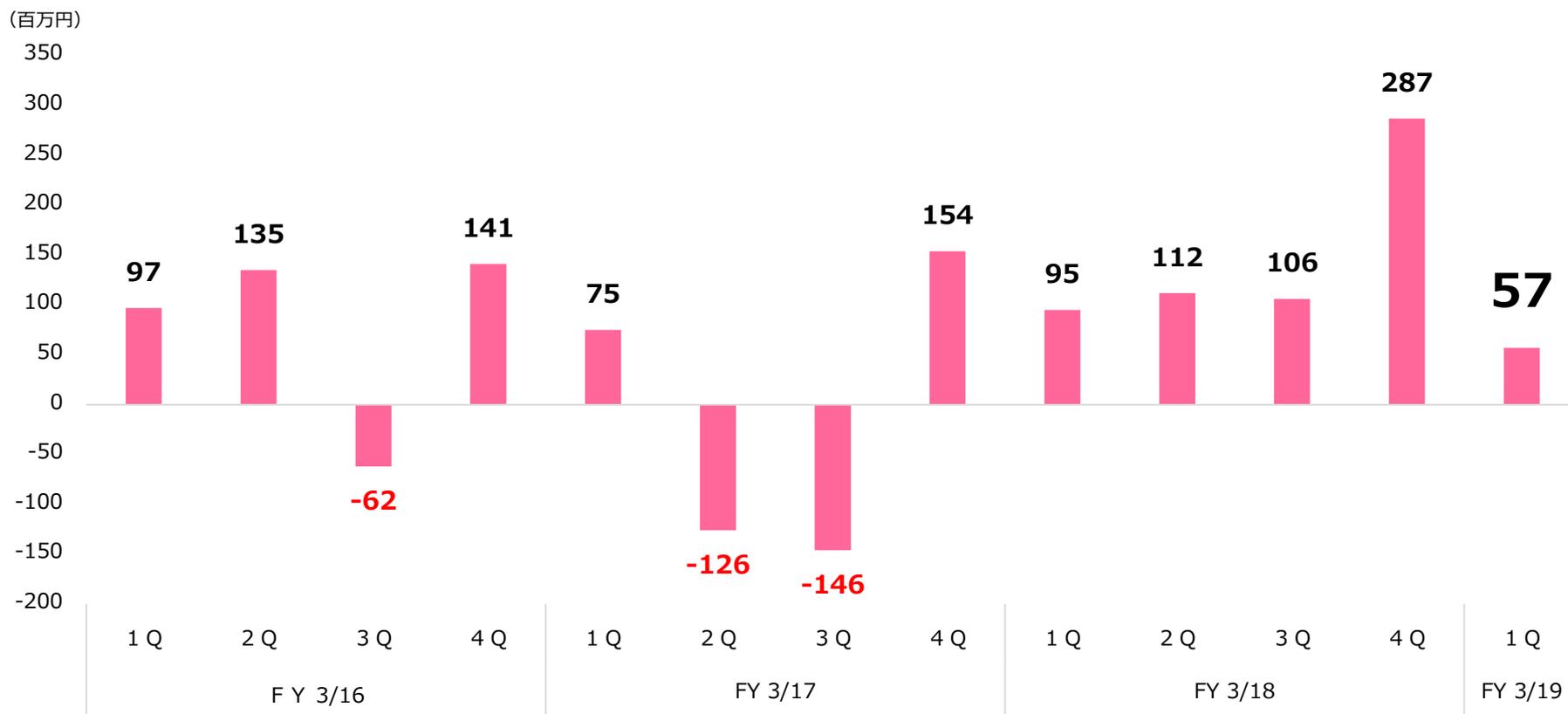
販売費・一般管理費は、 前年同期比+1.7%の8億57百万円

システム関連費用、減価償却費が減少した一方、広告宣伝費が増加。



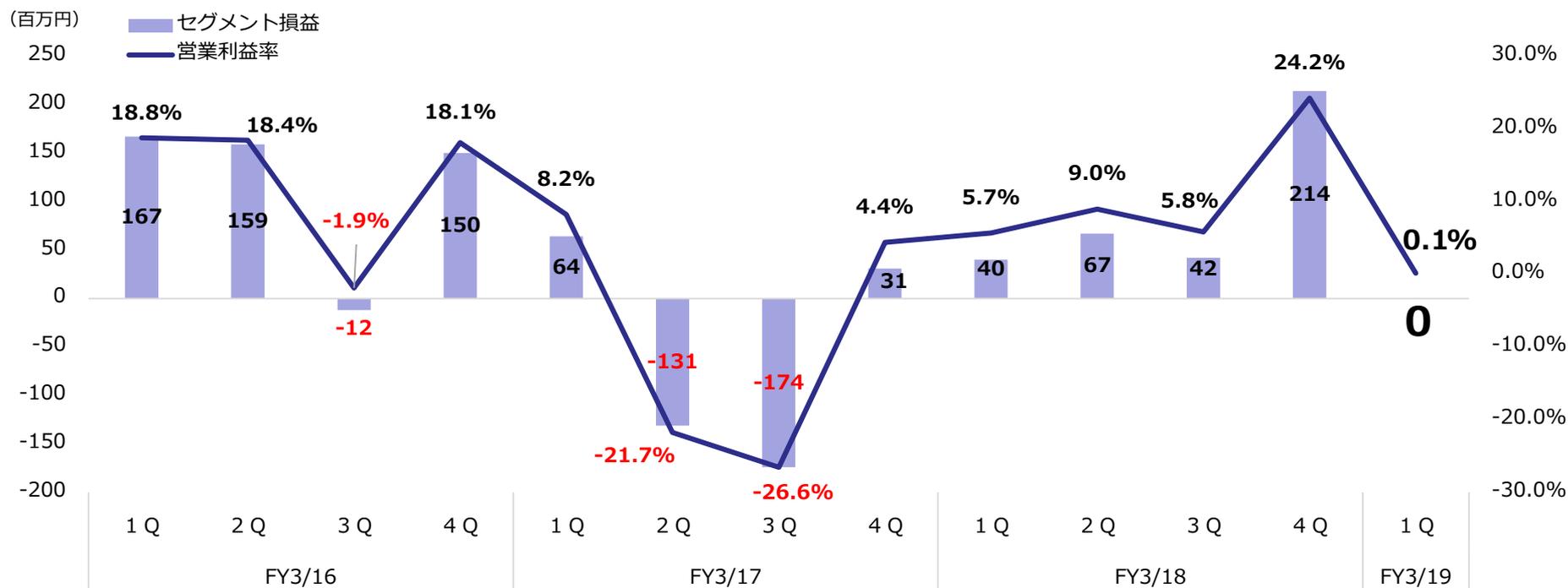
営業利益は、 前年同期比△39.8%の57百万円

4月の取引量大幅減少の影響が大きく、国内金融事業が苦戦。



純営業収益は、
前年同期比△6.4%の6億65百万円

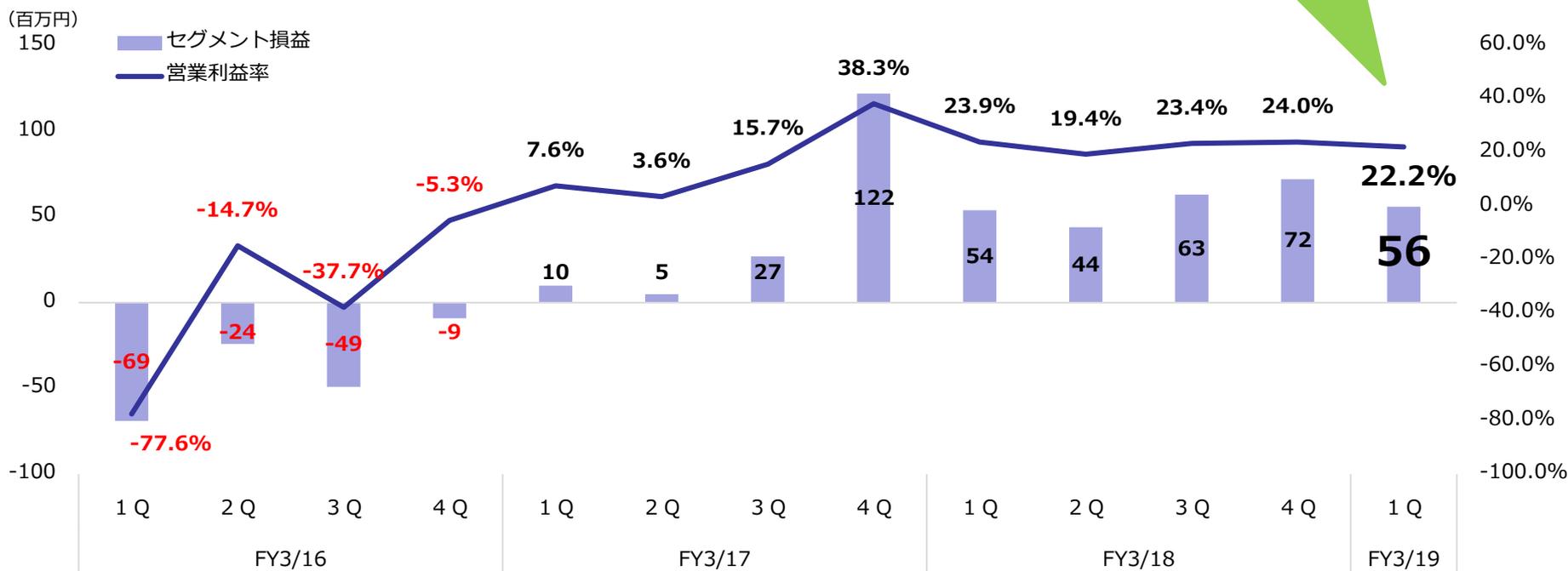
セグメント利益は、
前年同期比△97.6%の0百万円



純営業収益は、
前年同期比+10.7%の2億53百万円

セグメント利益は、
前年同期比+2.6%の56百万円

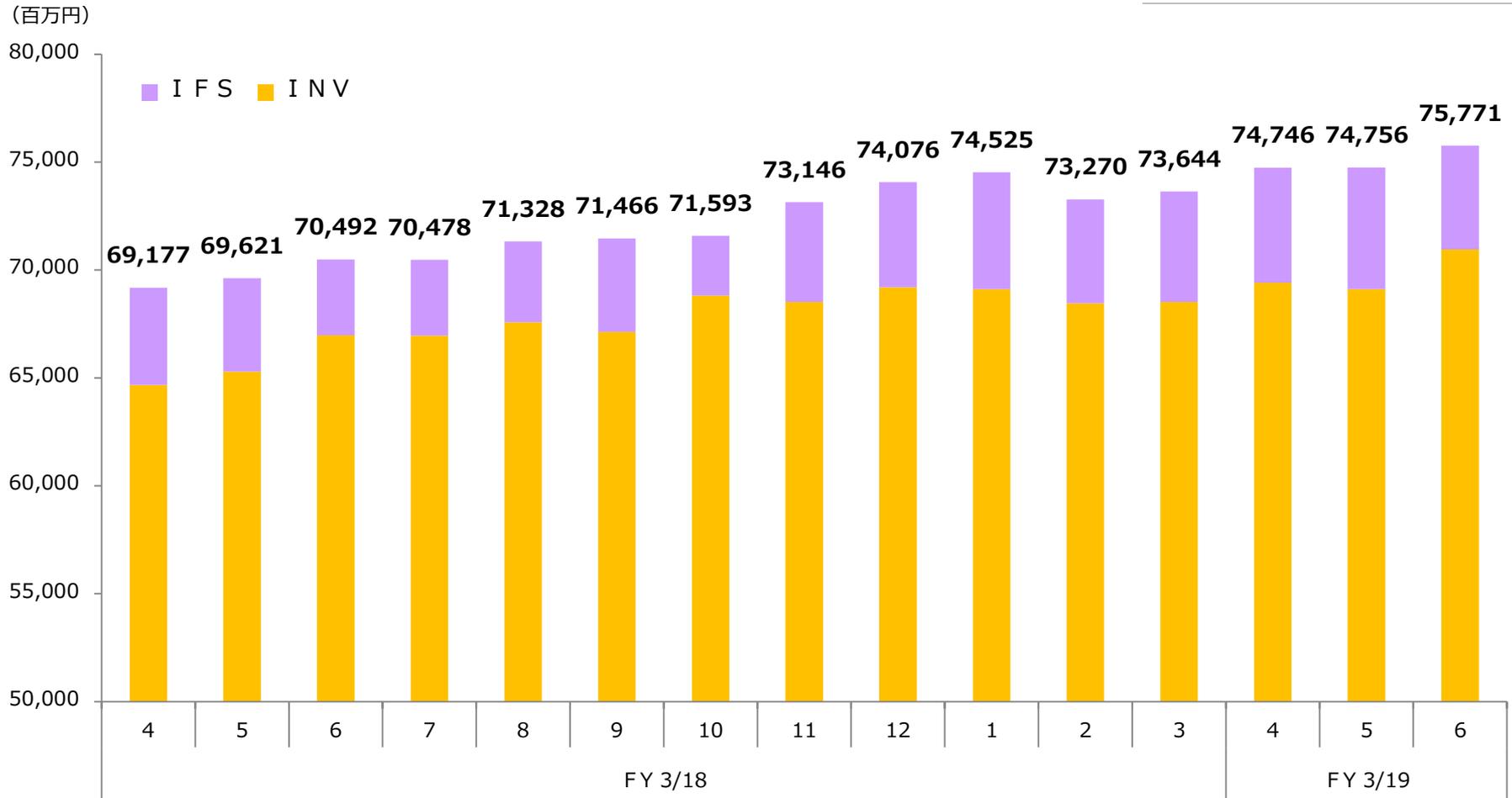
9四半期連続
利益計上



損益計算書

単位：百万円	2018年3月期				2019年3月期				対直前 四半期 増減率 (18/4Q比)	対前年 四半期 増減率 (18/1Q比)
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q		
営業収益	943	989	1,018	1,214	950				△21.8%	+0.8%
受入手数料	146	147	139	172	144				△16.0%	△1.0%
トレーディング損益	736	790	821	924	704				△23.8%	△4.5%
金融収益	11	13	25	31	43				+41.0%	+275.0%
その他の営業収益	48	38	33	86	57				△33.5%	+19.6%
金融費用	4	8	17	26	35				+33.6%	+678.5%
純営業収益	938	981	1,001	1,188	915				△23.0%	△2.5%
販売費・一般管理費	843	868	895	900	857				△4.7%	+1.7%
営業利益	95	112	106	287	57				△80.1%	△39.8%
経常利益	98	108	91	276	72				△73.7%	△26.5%
税金等調整前四半期 純利益	103	108	128	275	79				△71.0%	△22.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	94	101	120	280	68				△75.5%	△27.0%

預り証拠金

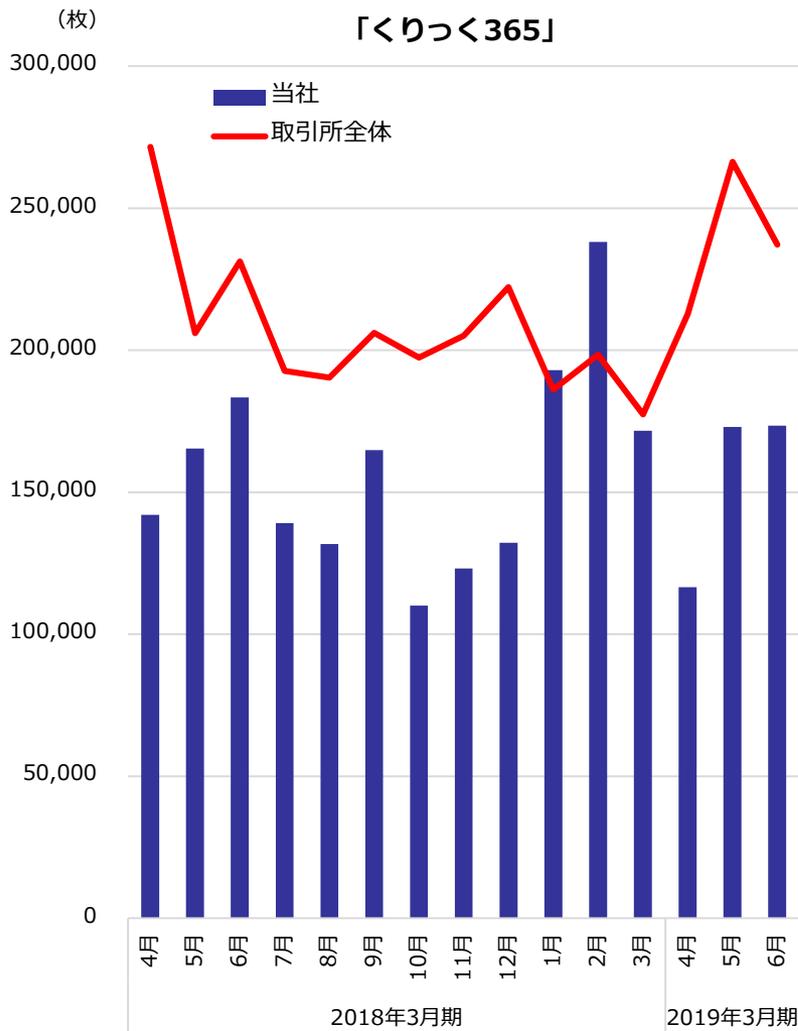


(注) 1. 連結子会社 I F S の決算日は12月末となっているため、上記数値は、発生から3ヶ月遅れで連結しております。
 2. I F S の営業収益等は、月中平均為替レートを用いて円換算しております。

【取引所FX・取引所CFD】取引高

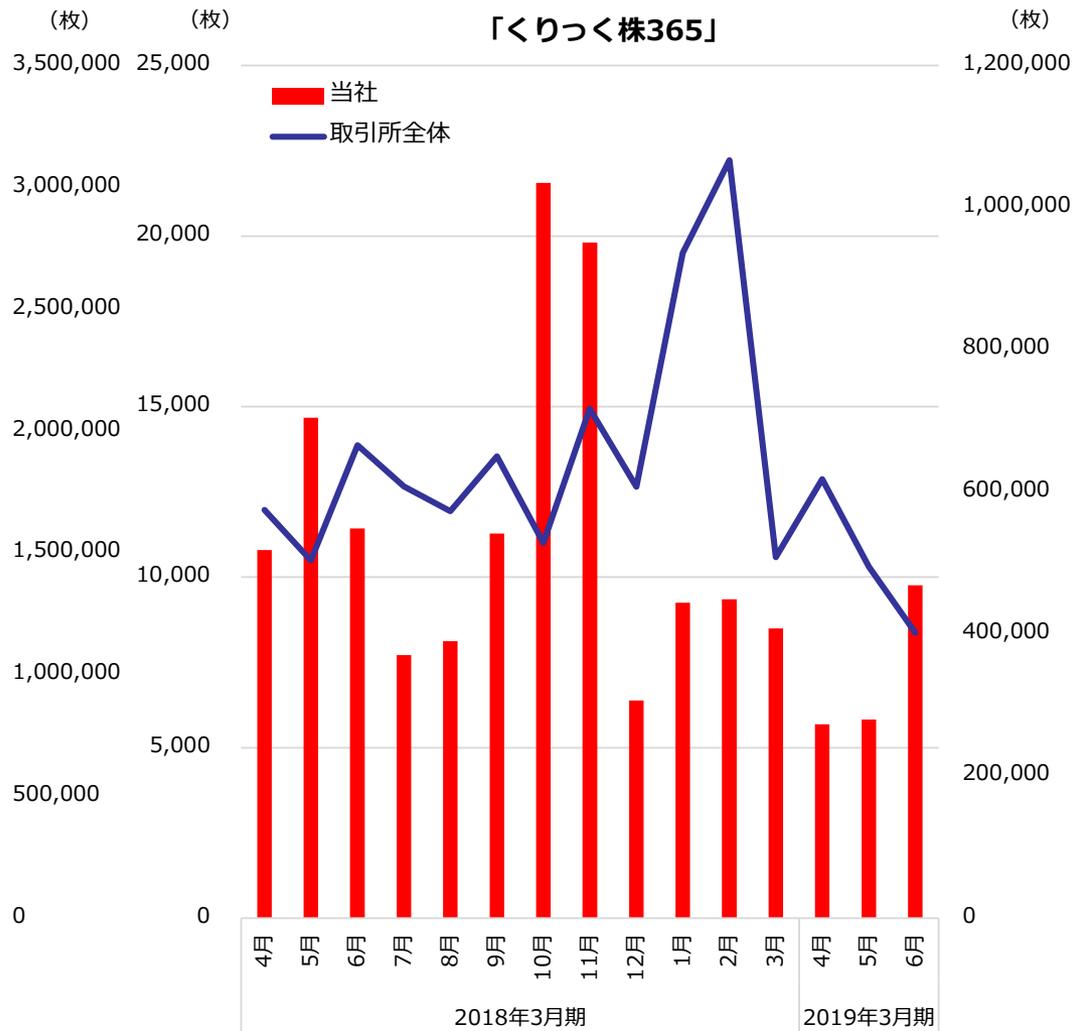
取引所FX

「くりっく365」



取引所CFD

「くりっく株365」





トピックス

ETF自動売買セレクト バージョンアップ！

4月21日、「ETF自動売買セレクト」 バージョンアップ！

PCでもスマホでも、銘柄選びがもっと便利に！

バージョンアップ内容

- ✓ 「セレクト一覧」画面のレイアウトをボックス形式からリスト形式に変更
- ✓ 「推奨証拠金」を相場の変動を考慮した算出方法に変更
- ✓ 収益率に評価損益（含み損）を加味して算出



ETF自動売買セレクト「セレクト一覧」画面イメージ

■ 「ETF自動売買セレクト」とは

銘柄を選ぶだけで自動売買ができるトライオートETFのサービスです。
銘柄と自動売買ロジックの選択は、収益率や人気順などのランキングで選択できるほか、複数銘柄でポートフォリオを組んだ際のシミュレーションも簡単に行うことができます。
直感的な操作でETFの自動売買運用ができることから初心者の方にも人気のサービスです。

ETF自動売買セレクトにコモディティ銘柄を追加！

5月14日、「ETF自動売買セレクト」に コモディティ銘柄を追加！

「金」と「原油」を選ぶだけの自動売買で取引できる！

これまでの株式関連ETFに加え、コモディティ銘柄「原油ETF（原資産：WTI原油連動ETF）」、「金ETF（原資産：SPDR®ゴールド・シェア）」を追加いたしました。

コモディティは通常先物での取引または現物を保有するのが一般的ですが、トライオートETFは現物を保有することなく少額から投資できるため、上手に活用することで株式マーケットが不調な時のチャンスを提供できると考えております。

5月14日(月) ETF自動売買セレクトに
コモディティ追加!

New!



-  SPDRゴールド_追尾
-  原油ETF_追尾

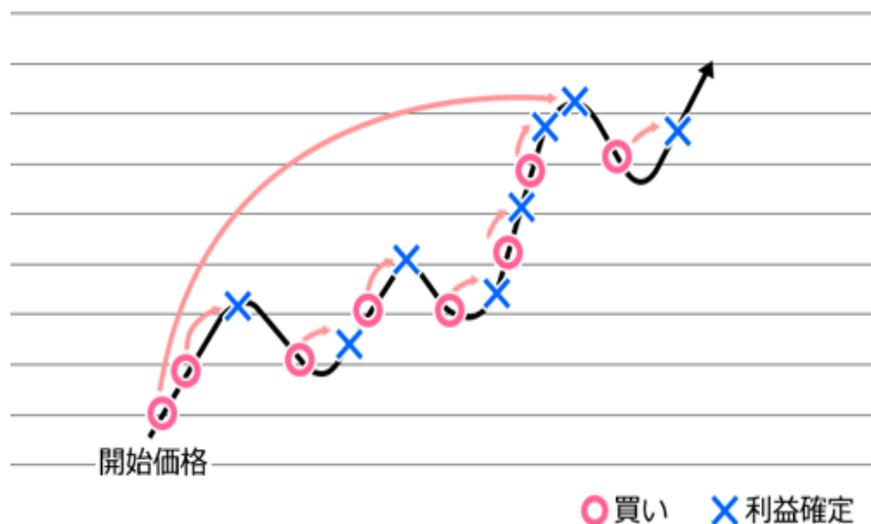
ETF自動売買セレクトに「ライジング」登場！

6月11日、「ETF自動売買セレクト」に 自動売買 新ロジック「ライジング」登場！

◆ 2タイプの連続注文で積極的に上昇相場の利益を狙う『ライジング』

ライジングは、小さな利益を積み上げる「利幅の狭い」自動売買注文と大きな利益を狙う「利幅の広い」自動売買注文の2種類を組み合わせたロジックです。

利幅の狭い注文は、細かな利益をコツコツ積み上げ、従来の自動売買セレクトでは利用されていなかった利幅の広い注文は、一気に利益を取るダブルの効果ができます。



「ライジング」取引イメージ

レンジ相場に適した「追尾」、
トレンド相場を得意とする「スリーカード」
に続く3つ目の新自動売買ロジック

● 対象銘柄：10銘柄

MSCIワールド／金融株トリプル／中国代表(株)50
EU大型株ヘッジ／投資適格社債／S&P500ダブル
ナスダック100トリプル／バンガード新興国株
エネルギー株／資本財株

※ライジングの特徴を活かせる安定した価格上昇がみられた銘柄を対象としております。

不動産ファイナンス事業への参入

～1,000万人達成に向けた取組み～

■ ハイライト

- 7月31日開催の取締役会において、光陽ファイナンス株式会社（K Y F）の株式を100%取得、子会社化を決議
- K Y Fは、不動産業者向けプロジェクト・ファイナンス（不動産業者が土地・建物を購入する際の仕入資金の融資を行う）を中心に不動産担保ローン/中小企業・事業者向け金融分野で長年の実績を有する
- 取得価額は100百万円（修正簿価純資産を基準として決定）

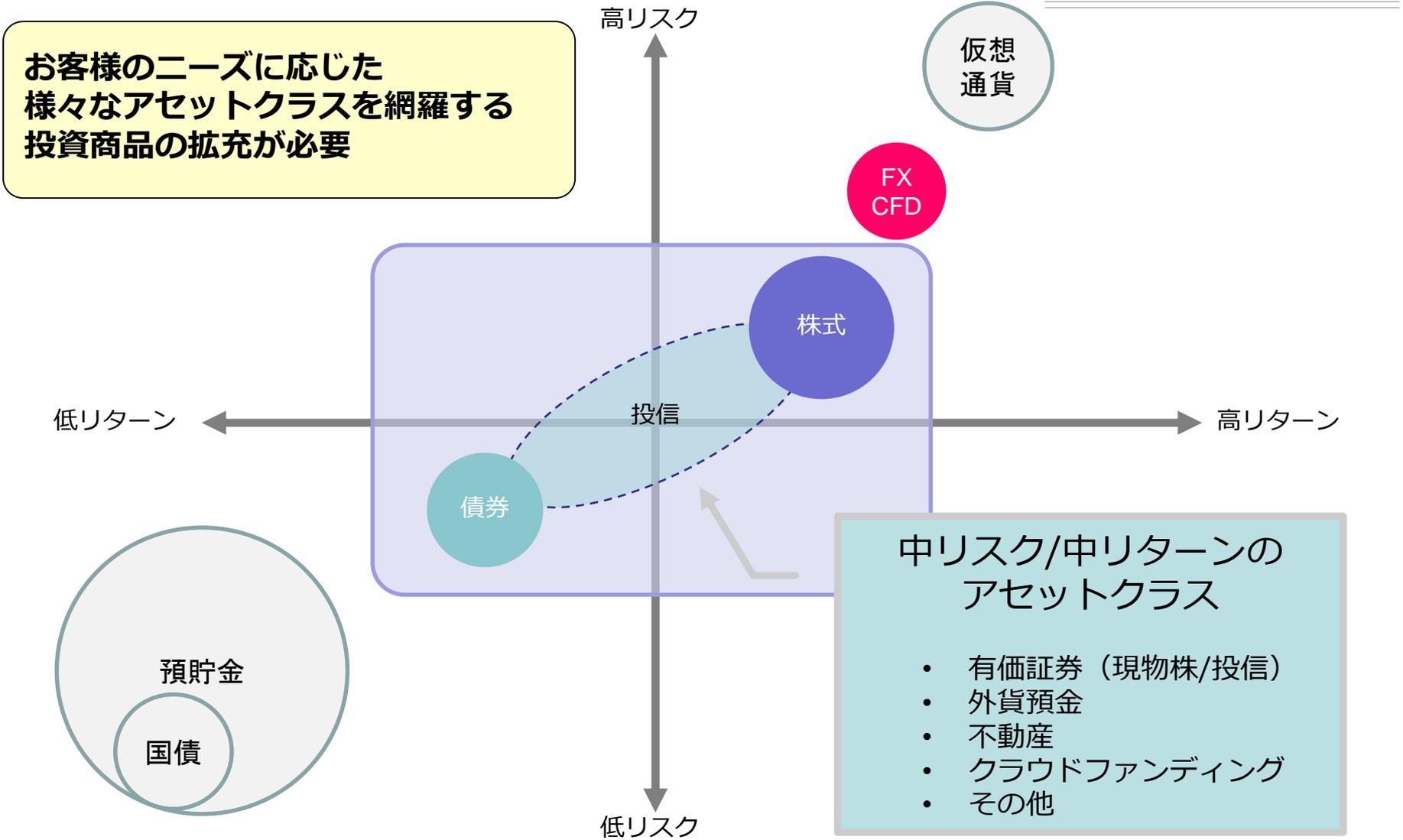
■ 目的

- Visionであるグローバル顧客基盤1,000万人達成に向けた取組みの一環
- デリバティブ（FX、CFD）以外のアセットクラスを品揃えに追加
- ブローカレッジ収益とは異なる収益源の確保

■ 期待するシナジー効果

- K Y Fの手がける不動産担保ローンプロジェクトに対するオンラインクラウド/ソーシャルファンディング事業の可能性模索
- インヴァストの提供するキャピタルゲイン金融商品にインカムゲイン金融商品が加わる
- マネーハッチにおける積立投資先としての可能性模索
- K Y Fの営業力および高い専門性を有した人材、豊富な業務ノウハウを活用し、当社のオンラインサービスと結びつけることで新規事業の創出を目指す

1,000万人を目指す = 取り扱いアセットクラスの増強

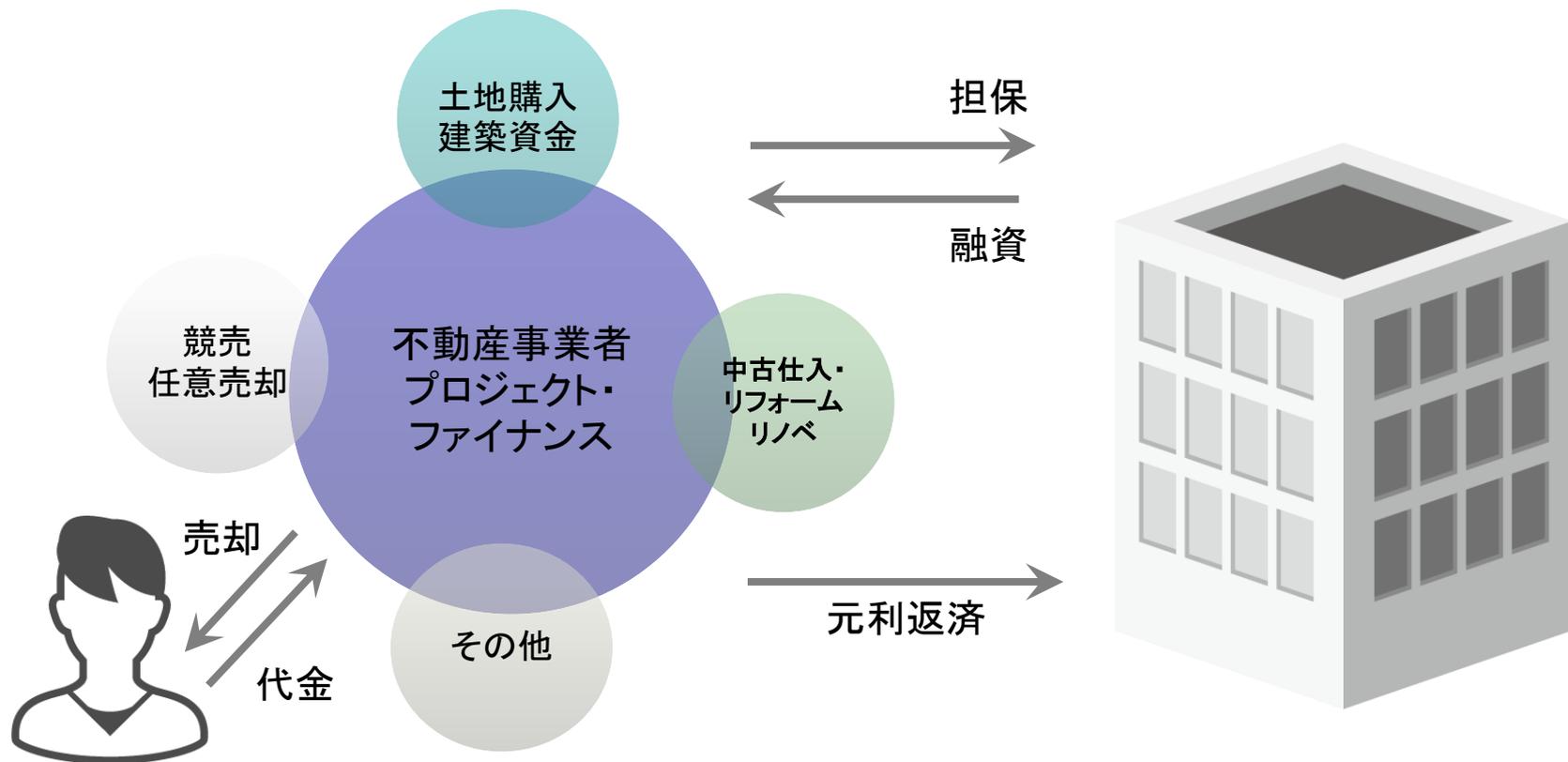


光陽ファイナンスについて

名称		光陽ファイナンス株式会社		
所在地	東京都中央区東日本橋一丁目5番6号			
代表者	代表取締役社長 水戸部 茂			
事業内容	貸金業（不動産業者向けファイナンス、中小企業向け事業資金ファイナンス等）			
資本金	9,000万円			
設立年月日	平成19年10月25日			
	決算期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
純資産		120百万円	110百万円	107百万円
総資産		899百万円	1,150百万円	739百万円
営業収益		185百万円	91百万円	96百万円
営業利益		42百万円	5百万円	18百万円
経常利益		51百万円	8百万円	19百万円
当期純利益		27百万円	3百万円	10百万円

国内新規事業 – 不動産ファイナンス事業

不動産担保ローンの市場拡大を背景に、
不動産事業者向けプロジェクト・ファイナンス事業に参入。
ストック収入を増大させ、収益基盤の安定化を図る。



その他の事業機会（発展性）

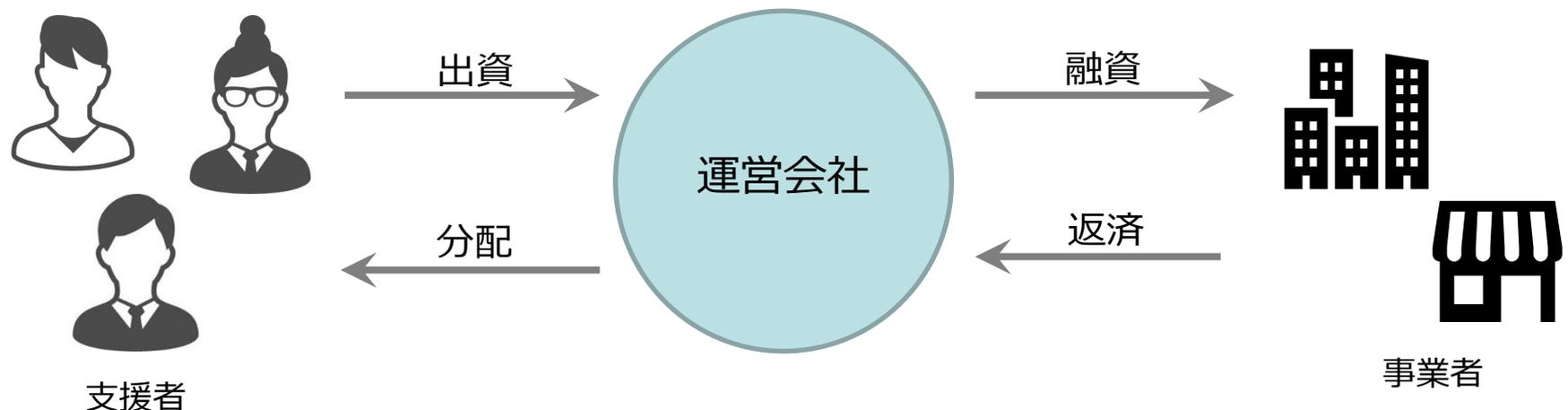
■不動産特定共同事業法の改正

2017年12月1日の不動産特定共同事業法の改正では、小規模不動産特定共同事業の創設、クラウドファンディングに対応した環境整備等々が行われ、不動産市場の活性化が期待される。

■クラウドファンディング/ソーシャルレンディング事業等への展開模索

K Y Fの豊富な経験、業務ノウハウを活用し、融資型（担保付）クラウドファンディング/ソーシャルレンディング事業等の立ち上げを目指す。

当社のオンラインサービス（マネーハッチ等々）との連携も検討。





Mission/Vision ・ 経営戦略

Mission 存在する目的

世界をもっと、良い場所にする

世界中の人々の金融面における課題を解決するソリューションを提供し、人々の幸せを通じて世界を「もっと良い場所」にする。

私達の考える「もっと良い場所」とは、一生懸命働いている人が、ちゃんと豊かになれる世の中であり、優秀で、意欲のある学生が、お金を理由に未来の選択肢を諦めなくても良い世の中であり、どんな人でも、幸せになる為の資産形成が出来る世の中です。

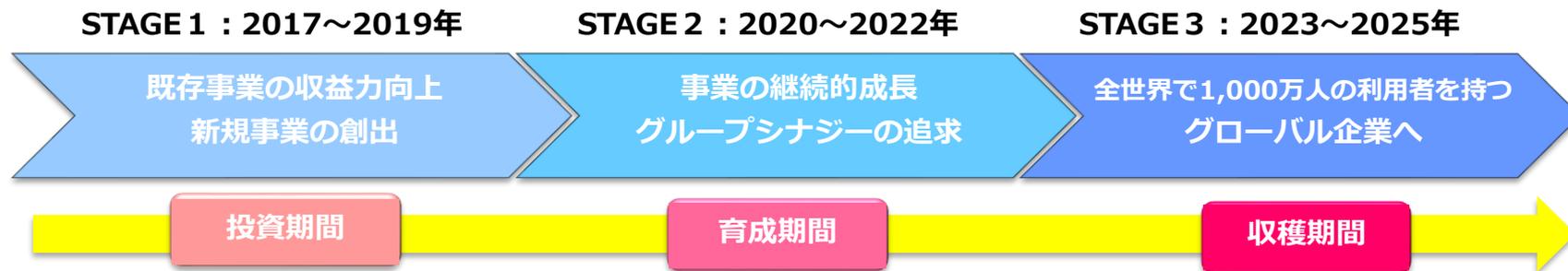
私達のミッションは、世界中の人々が、それぞれに思い描く人生設計において、金融面の課題を解決するソリューションを生み出すこと、挑戦する人をサポートし、より多くの人々が人生を豊かにするためのチャンスをつかむ、お手伝いをすることです。金融という側面から、世界中の人々の幸せを通じて、より良い世界の構築に貢献していきたいと考えております。

Vision 目指す姿

2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ 金融ソリューションを生み出す

資産運用からスタートし、育児や教育、就職や結婚、資産形成など、世界中の人々の人生における様々な分野で、金融面の課題を解決するソリューションの創造を目指します。私達は、全世界から集まった優秀な人材が、日々、本物のプロフェッショナルとしての責任を果たし、ビジョン達成の為に議論し、決断を下し、実行に移す、世界中に顧客を持つグローバル企業になります。その第一歩として、2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出します。

ビジョン達成に向けた経営戦略



経営戦略（STAGE1：2017～2019年）

① 既存事業の収益力向上

- ・ 独自の付加価値サービスの提供力強化（テクノロジーを活用した自動売買ソリューション）
- ・ 高い収益性、成長が見込める事業への優先投資
- ・ システム統合、内製化等によるコスト構造改革

② 新規事業の創出

- ・ 新たなビジネス領域への進出、FX事業に次ぐ第2・第3の収益の柱を創る
- ・ 人々のお金に関する課題解決を軸とした事業模索
- ・ VCファンド出資を通じたM&A、事業提携等

③ その他

- ・ 企業ブランドの構築
- ・ グローバル展開に対応しうる優秀な人材の獲得、組織の人材基盤強化



株主還元・配当政策

株主還元・配当政策

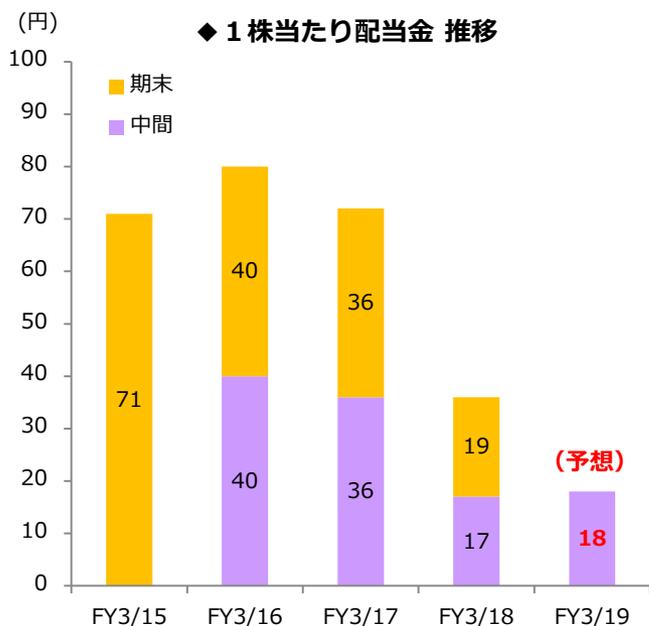
◆配当方針（2018年3月期以降）

連結配当性向30%または連結純資産配当率（DOE）2%（年率）のいずれか高い方を目安とし、中間・期末の年2回の配当を実施

◆2019年3月期 配当

中間配当 **18円（予想）**

期末配当 **未定**



◆配当の実績

決算期		15/3月期	16/3月期	17/3月期	18/3月期	19/3月期
1株当たり 配当金額 (円)	中間	0.0	40.0	36.0	17.0	18.0 (予想)
	期末	71.0	40.0	36.0	19.0	未定
	合計	71.0	80.0	72.0	36.0	未定
当期純利益 (百万円)		496	△404	△118	597	
配当総額 (百万円)		416	469	422	211	
配当性向 (%)		83.4	—	—	35.4	
ROE (%)		4.0	—	—	5.8	
DOE (%)		3.3	4.1	4.0	2.0	
配当利回り (%) ※		6.1	5.9	5.5	3.4	

※各年度末の終値で算出

インヴァスト証券の会社概要（2018年6月30日現在）

■ 会社名	: インヴァスト証券株式会社（INVEST SECURITIES CO.,LTD.）
■ 所在地	: 東京都港区西新橋一丁目6番21号 NBF虎ノ門ビル
■ 設立年月日	: 1960年8月10日
■ 資本金	: 59億6,508万円
■ 上場取引所	: JASDAQ市場 2006年3月6日 証券コード：8709
■ 代表者	: 代表取締役社長 川路 猛（かわじ たけし）
■ 主要な事業	: 金融商品取引業（第1種/第2種/投資助言業） 関東財務局長（金商）第26号
■ 加入取引所	: 東京金融取引所



免責事項

- 本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されている情報には、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、様々なリスクや不確定要因が伴うため、現実の結果が将来の見通しに関する記述に含まれる内容または将来の見通しに関する記述で示唆されている内容と大きく変わる可能性があります。
- 本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、その時点で提供可能な情報であり、その完全性、正確性、適用性、有用性等いかなる保証も行っておりません。
- 掲載された情報に基づく判断については、利用者の責任のもとに行うこととし、当社はこれにかかわる一切の責任を負うものではありません。